

ミニ展示：入場無料

# 神戸の“まち”とつながる

海港都市・神戸は、古くからの多様な歴史と文化に彩られ、その積み重ねが神戸の魅力につながっています。神戸の文化資源を残すまちなかを、ご紹介します。



会場：神戸大学 人文科学図書館ラーニングcommons  
時間：月～金曜日 8:45-21:00, 土曜日 10:00-18:00  
(※人文科学図書館の開館時間と同じです)  
共催：神戸大学附属図書館 人文科学図書館



2016 4.5 (火) ⇒ 4.26 (火)

## 日本列島の災害史

～兵庫を中心に、将来の災害を考える～

神戸を 1995 年に襲った兵庫県南部地震から、21 年が経ちました。災害列島とも呼ばれる日本の歴史的災害を振り返ります。



会場：神戸大学百年記念館 展示室エントランスホール  
時間：月～金曜日 9.30-17.00  
協力：神戸大学附属図書館大学文書史料室, 誓子・波津女俳句俳諧文庫

※5月からの巡回展のプレ展示として、2つのパネル展を実施いたします。内容は主に2015年度文学部講義で学生が調査、作成した成果に基づいています。写真は上から旧居留地十五番館、灘区酒蔵の道、大地震両川口津浪記、神戸大学震災文庫  
主催・問合せ：神戸大学人文学研究科・文学部地理学教室 (mkikuchi@lit.kobe-u.ac.jp)  
会場の位置：裏面を参照 神戸大学六甲台キャンパス 〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1

# 災害と文化財保存の 歴史地理

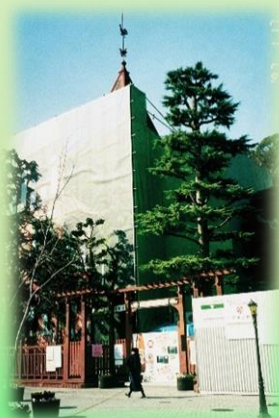
2016年、阪神・淡路大震災から21年、東日本大震災から5年を迎えます。神戸大学で学ぶ学生たちも、阪神・淡路大震災を直接知らない世代が増えてきました。

神戸大学地理学教室では“災害と文化財保存”をテーマに、災害と人間関係、災害の履歴、まちづくりと文化財について取り上げ、災害と私たちの生活や文化の側面との関わりを探りました。

阪神・淡路大震災の経験をいかに受け継ぐか、という神戸固有の課題にも向き合う機会となればと願っています。



2016 5.9 (月) ⇒ 6.30 (木)



会場：神戸大学社会科学系図書館 2階展示コーナー 入場：無料  
神戸大学六甲台キャンパス 〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1

時間：月～金曜日8:45～21:30 土・日曜日：10:00～19:00

※ただし 5.15(日)と 6.19(日)は休館

主催：神戸大学人文学研究科・文学部地理学教室

協力：神戸大学附属図書館、海事博物館

写真 風見鶏の館（上 2015年、下 1997年）

